

太田東西かわら版 2015.7

107歳、おめでとう！



宮崎県延岡市にお住いの西川しづさん。
太田東西薬局、最高齢のお客様です。

明治41年生まれ。6月で107歳になりました！
数えて108歳。“茶寿（ちゃじゅ）”と呼ぶそうです。

しづさんとのご縁は3年前。太田東西薬局が紹介された本を、娘さんが書店で
手に取られたのがきっかけ。「母親の閉じた目をなんとかかしたい」
すると・・・

漢方服用後1ヶ月が過ぎた頃、なんと、目が開いた！！
しかし、だんだんと粒の漢方が飲めなくなって、再び閉眼・・・

そこで太田東西夫婦、往復700km、しづさん開眼のために
宮崎出張を決意したのでした。

宮崎県といえば、「天の岩戸」で知られる神話の国。
岩戸の中に引きこもった天照大神が、どうしたら岩戸を開いてくれるか？
「外がなんだか、にぎやかで楽しそうだ」
そう思ってくれたら、天照大神同様、しづさんも開てくれるのではないかな？

ということで、まずは太田東西フラガールのフラダンスから(笑)



瀬戸は～ 日暮れて～ ゆうな～み こ～な～み～

満面の笑みでのフラ。が、開眼ならず・・・・・・・・
しかしご主人は、なんと瀬戸内海に面する香川県の出身だった！
当時、瀬戸内海を往来する乗客船の発着の曲が、『瀬戸の花嫁』だった！！
娘さん、とっても感激されていました。

続いては、ウクレレでハッピーバースデー



ハッピーバースデー～ トゥ～ユ～

ハッピーバースデー～ トゥ～ユ～
ハッピーバースデー～ ディア しづちゃ～～～～～ん

これまた、残念・・・・・・・・
しづちゃん、ひょっとして、照れて目を開けないのかな？(笑)

しづさんの長寿の秘訣を、娘さんにインタビューして検証しました。

<食事> なんでもよく食べていた。甘いものが大好きだった。特におしるこ、ぜんざい。醤油、塩もたっぷり使っていたが、高血圧になることはなかった。魚よりも肉が好き。103歳の時、ステーキ店で一人前を完食。店のオーナーを驚嘆させた。飲酒、喫煙の習慣はなし。

<薬> 病院の薬は100歳まで何も飲んでいなかった。健康診断、人間ドッグなど積極的に行く人ではなかった。

<病歴> 70歳の時に乳がんが診断された。しかし手術をしてみると、がんではなく乳線種と判明。とんでもない誤診に対して、しづさんは怒ることもなく快気祝いと称して自分の好きなものを買っていた。乳がんが診断された際、近所の人たちに「これが乳がんよ、触ってみて」としこりを触らせていたそう。102歳の時に認知症の検査（長谷川式）を受けた。異常なしだった。

<趣味> 古希を過ぎてから日本画を本格的に始めた。20年近く続けた。車の運転免許を退職後、還暦を過ぎてから取った。大分県の日本画の先生の元に往復4時間かけて通っていた。

<人柄> とても社交的。あの人に会いたいと思えば、すぐに車を走らせていた。あれこれ気にしない性格。先の乳がん診断しかり。夫の戦死の知らせを受けた時号泣することもなく、「さあ～夕飯の支度しなきゃ」といつもどおりだった。後日、戦死の手紙は別人ということがわかった。（ご主人は享年95）情け深い。戦時中、家の防空壕が頑丈ということで、どんどん人を招き入れて爆撃死の心配よりも、ぎゅうぎゅう詰めで窒息死しそうになった。戦後、きょうだいから子どもたち（甥）の養育を頼まれた。余裕があるわけでもなかったのに、甥っ子4人を受け入れて育てた。しづさんは高等学校の教師をしていた。30代の頃、車で帰ってきたラグビー部の生徒たちに駅弁を買って振る舞った。あれから70年、「あの時の駅弁の味は一生忘れません」と、90歳の生徒が涙した。人の悪口は言わない。言われた悪口は気にしない。「あの人はああいう人だから」で終わり。「悪口を言われることは、話題に上がった名誉なこと」とあっさり。見栄っ張りではない。今年の4月に同窓会の案内が来た。「こんな変わり果てた姿を見せたくないだろう」と思った娘さん。「行かないでしょ？」と尋ねると、「行く！」と、しづさん。今のありのままを見せる。昔から飾らない人だった。

とにかくしづさんは、

人生を、今を、楽しんできた！

深刻に悩まない！ 気にしない！

「人にどう思われるか？」よりも、「自分がどうしたいのか？」

主体的な人生を歩んで来られたのだなあ～と思いました。

これぞ、『プラス思考』『ストレスフリー』の人生！！

夫の戦死の誤報、乳がんの誤診にも平然としていたしづさん。

明治生まれの女性から

「ストレスは自分の受け止め方次第」

そう、気づかされます。

しづさんの若かりし頃の武勇伝？は、もちろん娘さんは記憶にありません。
直接母親に聞いたのではなく、しづさんを訪ねてくる人たちから、自分が知らなかったお母さんのエピソードをたくさん聞くことになります。

よりよく生きる、明るく楽しく思いやりを忘れずに生きること。

それは自分のためではなく、家族のためにもなるんですね。

自分の生き方考え方は、子孫に語り継がれるということがわかります。

そんな、しづさん。

今もきっと

「目が見えなくて、死にたいよ」「こんな姿でみっともない」

なんて、自虐的マイナス思考なんかしていないはず。

120歳の“大還暦”に向けて、充電中なのかも(笑)

1日3回の流動食と

『漢方調合ジュース』も

しっかりいただいています！

「もう年だから、無理です」
そんな言い訳をしている人は
しづさんの年になってから
言ってください(笑)

